

外来受診のご案内

最新の外来診療体制は当院ウェブサイトに掲示しています。
[🏠 URL http://www.koto-ghp.jp/](http://www.koto-ghp.jp/)

休診日：土曜日・日曜日・祝日・1月2日・1月3日・8月13日・8月14日・12月30日・12月31日

【一般診療のご案内】

外 来 診 療 科		月	火	水	木	金	受付時間（新患・予約外）
内 科 (総合内科・血液・腎・膠原病内科)	午前	○	○	○	○	○	受付時間／8:00～11:30
	午後						午後であっても具合の悪くなった方の診察を行います。(電話での連絡をお願いします。)
消 化 器 内 科	午前	○	○	○	○	○	受付時間／8:00～11:30 火・水曜日／8:00～10:30 胃カメラ予約制
循 環 器 内 科	午前	○			○	○	受付時間／8:00～10:00
呼 吸 器 科	午前	○		○	○	○	受付時間／8:00～11:30（水・金曜日の受付は10時までです。）
小 児 科	午前	○	○	○	○	○	受付時間／8:00～11:30 13:00～16:00
	午後	○	○	○	○	○	町の健診終了時間により午後の診察時間が変わります。
整 形 外 科	午前	○	○	○	○	○	受付時間／8:00～10:30 火曜日:鷗木医師は完全予約制です。
脳 神 経 外 科	午前			○			受付時間／8:00～11:30
婦 人 科	午前				○		受付時間／8:00～11:30（第1・3・5木曜日）
泌 尿 器 科	午前	○		○		○	受付時間／8:00～11:30
人 工 透 析	午前	○		○		○	
	午後	○		○		○	
耳 鼻 咽 喉 科	午前				○		受付時間／8:00 ～ 14:00（木曜日の診察開始は10時からです。）
	午後		○		○		
眼 科	午前	○	○	○	○	○	受付時間／8:00～11:30（木曜日は11時までです。） (午後は予約検査で完全予約制です。)
	午後	○	○	○			
皮 膚 科	午前		○			○	完全予約制です。
精 神 科	午前		○				受付時間／8:00～11:30（新患は予約制）

※皮膚科のご予約をされる際は、受診の前日（休診日を除く）までに直接当院へご来院ください（電話での予約はできません）。
 なお、希望される受診日の予約をお取りできない場合がありますので、ご了承ください。

【特殊診療のご案内】

特 殊 診 療		月	火	水	木	金	
小 児 科 予 防 接 種	午後		○	○		○	完全予約制です。(直接来院または、ホームページから予約可能です。)
眼 科 学 童 クリニック	午後					○	受付時間／8:00～15:00

※診療体制が変更になる場合があります。

CT・MRIの依頼検査について

他医療機関の先生方へ

当院では他医療機関からの
CT・MR I 検査の依頼をお受けしております。



診療情報提供書、申込書等の提出が必要です。

→詳しくは当院ホームページ(地域医療連携室)をご覧ください。

連絡先 湖東厚生病院 地域医療連携室

代表電話／018 (875) 2100
 直通FAX／018 (875) 5421
 業務時間／平日 8:30～17:00
 住 所／〒018-1605 南秋田郡八郎潟町川崎字貝保98番1

訪問活動について

当院では医療機関様、介護施設様と「顔が見える関係」の構築、連携の強化を図るため訪問活動を行っております。訪問の際にはご対応のほどよろしくお願いいたします。

J A 秋田厚生連 湖東厚生病院
 地域医療連携室だより ことの鐘 Vol.19 令和7年2月発行
 発行責任者／地域連携センター長 波多野 善明

Bells in Koto since 2011

湖東厚生病院 地域医療連携室だより

ことの鐘

2025.2
Vol.19

2025年 新年のご挨拶

「住み慣れた地域で生活続けるために～介護施設との連携～」

湖東厚生病院 院長 波多野 善明



か叶いませんでした。今年も久しぶりに家族がそろい新年を迎えられた方も多いのではないかと思います。ここ数年の感染症流行の経験から、これからも感染症への対処が重要であり続けると思いますが、秋田県のような少子高齢化、人口減少が進む地域では「医療の機能分化、連携強化、役割分担」が医療の将来を左右する重要な課題となっています。2025年新年のご挨拶として、「地域医療における課題と当院が果たしている役割、特に介護施設との連携」についてお話しさせていただきます。

少子高齢化、人口減少により患者さんの総数も減少しています。健康を保つことにより患者さんの総数が減るのは良いことだと思いますが、個々の病院の規模縮小につながります。また、現状から今後の見通しにおいて、秋田県全体で急性期医療を必要とする患者さんよりも回復期医療を必要とする患者さんの方が増えており、秋田市と当地を含む秋田市周辺地域においても令和5年7月時点で急性期治療用の病床が750床余り過剰となっています。この病床を他の病床、特に回復期治療用の病床に変えてゆく必要があり、これは病院設備・医療スタッフ構成の変更、つまり病院機能の変更につながってゆきます。医療スタッフの減少も進行しており、特に看護師の欠員・不足は深刻です。必要な医療が出来なくなる場合も出てきており、病院機能・収支に影響して病院の存続を危うくします。

このような状況から、個々の病院はその果たすべき医療機能を考え、それに必要な病床数を見直し、他の医療施設に任せるべき分野は他の医療施設に任せ、医療スタッフの再配分などにより効率的な医療を目指すなど、「医療の機能分化、連携強化、役割分担」が必要になっています。秋田県はその一歩として二次医療圏を従来の8医療圏から3医療圏へ変更する「二次医療圏再編」を発表しました。

この「再編」で各二次医療圏は現状よりも広域となりますが、住民の皆さんの生活に身近な医療が手薄になってはならず、地域医療は今まで以上に充実させてゆく必要があります。そのためには当院のような、「住民の皆さんが住み慣れた地域で自分らしい生活を続けられるように地域で助け合う体制：地域包括ケアシステム」を医療面から支える「地域包括ケアシステムを支える病院」の充実が必要と考えています。当院はその機能を果たすべく総合診療に重点を置き、在宅療養を支援するため訪問診療・訪問看護、オンライン診療

を行い、地域の医療施設との連携として介護施設やクリニックとの連携に注力しています。

当地周辺は高齢化率が高く、介護施設を利用する方もたくさんいらっしゃいます。「地域包括ケアシステムを支える病院」として介護施設と連携することは当院の重要な役割です。当院退院後に自宅退院できない場合は介護施設利用となることも多いですが、再び病状が悪化しないように対策し、悪化した場合には早期に対処できる体制を整えておく必要があります。昨年6月の診療報酬・介護報酬改定では、介護施設利用中の患者さんの病状が悪化した時に備え介護施設は協力医療機関としての病院を定め、常時相談できる体制を構築して連携を強化するように見直しが行われました。これまでも患者さんの体調が悪くなった場合には受診していただいておりますが、当院は現在までに8施設の協力医療機関となって連携強化が決まっており、各施設とオンラインで月1回のカンファレンスを行っています。

この連携を単なる「義務」に終わらせることなく、「内容のある連携」に育ててゆく必要があります。当院には総合診療医2名、総合内科専門医4名が在籍しており、複数の疾患を抱えている場合が多い高齢者を診療する体制が出来ています。また、診療・介護報酬改定以前からそれら医師による介護施設とのオンライン診療や訪問看護、看護部による出前講座も行っており、既に一定のノウハウを培っています。

連携を進めるうえで当院と介護施設の双方に課題があると思いますが、その課題をみつけ対策を講じてゆくために2023年から「地域の介護施設との連携の集い」を行っています。2023年度は1回行い、10介護施設、4地域包括支援センター、1役所で合計25名、2024年も1回行い17介護施設、2地域包括支援センターで合計35名と多くの方々に参加していただきました。当院の課題としては、介護施設それぞれの状況・体制を把握してそれに合わせた助言・支援を行えるようになること、また、気兼ねなく相談してもらえるような関係を築く必要があると考えています。「連携の集い」終了後に行ったアンケートでは、「定期的に開催してほしい」、「回数を増やしてほしい」など好意的な意見をいただきました。「顔が見える関係を築く」こと、それにより信頼関係を築くことが一番必要なことと考えています。

今年は巳年ですが、「巳」（へび）は脱皮するたびに傷が治癒してゆくことから、医療、治療、再生のシンボルともされているようです。本年が皆様にとって健やかで穏やかな一年となりますように心から祈念しております。

当院の医療介護連携における現状とこれからについて

千葉内科医院 院長 千葉 裕一



当院は国道285号線のもりやまこども園入口・ローソン向いに位置しており、主に五城目町、八郎潟町、井川町、上小阿仁村にお住まいの患者様にご利用いただいております。院長の私はまた、八郎潟町の老人保健施設、特別養護老人ホーム、五城目町の2つのショートステイ、デイサービスと、あわせて5か所の介護施設の囑託医として働いております。

私が診療する患者様は高齢者が圧倒的に多く、複数の疾患を抱えておられる方がほとんどです。少しでも病状が悪化した場合、近在の湖東厚生病院への紹介を希望する方はたくさんいらっしゃいます。特に内科系の疾患に関しては当方から湖東厚生病院に検査指示をお願いすることが多いです。ただし、外傷や急性心筋

梗塞など急を要する場合、先に秋田厚生医療センターに紹介することもあるのですが、術後、入院適応の患者様の大部分は湖東厚生病院にお願いすることとなり、大変ご迷惑をお掛けしております。一方で、病院で全身状態が安定した患者様を再び当院に紹介していただき、感謝しております。

これからの病診連携については、更に高齢化が進み、多くの疾患を合併する患者様が增加すると思います。患者様あるいは家族の皆様のご希望に添いつつ治療を続けるには、この地域では湖東厚生病院にご相談いただく場合がほとんどで、病診連携のみならず、介護関係者を含めた連携が必要となると思います。今後、湖東厚生病院の役割は一層大切になると思います。

当院では、地域の在宅療養を支えている介護施設の職員皆様との連携を深めることを目的として、看護師による「出前講座」を開催しています。日々のケアにすぐに役立つ内容となっていますので、ご興味のある方はぜひご活用ください。

講 座 名		内 容
褥瘡	①褥瘡の予防方法を学ぼう	・褥瘡って何？ ・褥瘡ができやすい人はどんな人？ ・褥瘡が発生しやすい部位はどこ？ ・褥瘡予防のためのポジショニング（体位） 
	②褥瘡の処置方法を学ぼう	・スキンケアと褥瘡の処置方法
摂食 嚥下	①口腔ケアを学ぼう	・器質的口腔ケアと機能的口腔ケア（講義と実践） 
	②安全な食事介助をするためのポイント	・摂食嚥下の5段階メカニズム ・食事の姿勢や食事介助のポイントと食事時の観察（講義と実践）
感染	①手指衛生	・手洗いと擦式手指消毒の手技の確認 ・手指衛生が必要な場面 ・手荒れの対策 
	②个人防护具	・個人用防護具が必要な場合 ・マスク、手袋の着脱 ・ガウン、エプロンの着脱
糖尿病	①糖尿病と口腔ケアの重要性について	・誰もが行っている口腔ケア、糖尿病の人には何が重要な？
	②糖尿病と足のケア	・足のトラブルやケアの重要性について
認知症	①認知症の人が住む世界と倫理	・認知症の人の視点から見た環境や、他人に対する考え方 ・認知症の人にケアする場合、気をつけたい事など
	②認知の進行や症状におけるケアのポイント	・認知症の初期から重度・末期に必要なケアをステージ毎に紹介
	③暮らしの中で認知症を予防するには	・認知症を予防するにあたり、日常生活（特に睡眠やケア）に対して気をつけたいこと
	④認知症の人の意思決定とは	・認知症の人の意思の確認方法や、出来ない場合の意思決定をどうするか ・日常のケアに潜む倫理的問題（事例）
アドバンス ケアプラン ニング (ACP)	①人生会議って何だろう～もしばなゲームで自分の思いを見つめてみよう～	・自分の人生を望んだ形で過ごせる為に、自分にとって大切なことは何か考えるきっかけ作り。大事にしていることや、嫌なことなど思いを見つめてみる
	②人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドラインについて	・意思決定支援や方針決定の流れをイメージする

- 対象者
近隣の施設職員
- 開催日時
月曜から金曜日
(土日祝日、年末年始、お盆期間を除く)
13:00～16:00
- 所要時間
1講座：約30分
- 開催場所
準備を含めて申込先でお願い致します。
指定して頂いた場所へ出張致します。
- 申込方法
ホームページの看護出前講座のご案内 (<https://www.koto-ghp.jp/hospital-section-nurse-visitinglectures-01.shtml>) から申込書をダウンロードし、希望日の前月5日までに、FAXまたはメールでお申し込みください。
FAX／018-875-5269 メールアドレス／info@koto-ghp.jp
- 費用
講座は無料です。会場に要する費用は申込先でご負担をお願いします。
- その他
・当日の会場準備、運営、進行は、申込先でお願い致します。
・マスク着用は必須とし、感染予防対策をとっていただきますようお願い致します。
・感染症状況により延期あるいは変更する場合がございますので、予めご了承ください。

